

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	景観形成推進事業	担当課	都市計画課	
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成18年度～
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	法定+任意
	基本事業	美しい都市景観の形成	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-080401-05 単独	根拠法令・条例等	景観法, 守谷市景観法の施行等に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>平成16年に国において景観法が定められ、まちづくりにおいては、恵まれた豊かな水辺や緑を保全するとともに、良好な景観を創出していくことが大切であるため、市は平成17年8月24日に「景観行政団体」となった。</p> <p>また、無秩序な市街化を抑制し、都市の健全な発展と計画的なまちづくりを進め、良好な都市景観の形成を図るため、平成19年4月1日に「守谷市景観計画」、「守谷市景観法の施行</p>	<p>「守谷市景観計画」に基づき、建築物を主体とした良好な景観形成の推進、快適な都市環境の創出を図るため、景観計画に示す基準による助言、指導、条例に基づく届出の受付、「守谷市景観審議会」の運営を行う。</p> <p>市内に存在する多数の屋外広告物の管理を屋外広告物等管理システムにより行い、市内に無秩序に掲出された違反広告物に対して「守谷市屋外広告物条例」及び「守谷市違反広告物是正指導要綱」に基づき市内全域を4区域に分けた2期目の是正指導を実施する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>市民共有の財産である良好な都市景観を守り、次世代に引継ぐために「守谷市景観計画」に即した景観まちづくりを、市民の理解のもと進めていく。</p> <p>あわせて、屋外広告物の氾濫が景観形成を阻害している一つの要因であることから、「守谷市屋外広告物条例」に基づき屋外広告物を適正に管理することにより、街並みの良好な環境の保持に努める。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民の景観意識を高め、美しい街並みを創出する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>条例違反広告物に対しては是正指導を行っているが、特に屋外広告物の掲示者（店舗等の責任者）が屋外広告物条例の認知度が低く、違反行為と認識していない場合が多い。</p>	<p>R2.6～10月：是正対象調査（大木、板戸井、野木崎、北守谷板戸井線、谷井田稲戸井・停車場線～郷州戸頭線）</p> <p>R2.6～10月：是正通知発送</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 是正対象物件の調査後、通知により是正の周知と指導を行う。 ・ 広報やホームページ等を利用し条例内容をわかり易く周知する。 ・ 是正対象の土地所有者にも周知する。 	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p><input type="checkbox"/> 増加</p> <p><input type="checkbox"/> 維持</p> <p><input type="checkbox"/> 削減</p>	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度の実績（評価、課題への対応）
<p>市内全域の屋外広告物是正指導計画（第1期：7年計画H26～R2年度7地区分割）に基づき、R2年度は23件の是正指導を行った。その内14件は対応済（申請許可済2件、撤去済6件、申請不要6件）で、9件については、是正指導中である。</p> <p>是正指導中9件について、引続き対応するとともに、次年度からの第2期是正指導計画（R3～6年度 4地区分割）を作成し、計画に基づく是正指導を行う必要がある。</p>	<p>引き続き、屋外広告物是正指導を行い、前年度から是正に向けて対応中の9件の内3件については対応済（申請不要3件）となった。令和3年度は、第2期是正指導計画により、常総線南側かつTX東側（①区域）の指導を66件行い、その内21件は対応済（申請許可済9件、撤去済6件、申請不要6件）で、45件は是正指導中である。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
是正指導に基づく許可件数（件）	2.00	0.00	12.00	5.00	4.00	9.00	2.00
是正指導に基づく違反広告物削減件数（件）	6.00	0.00	5.00	10.00	13.00	6.00	5.00
成果の動向（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	令和3年度から屋外広告物の是正指導が2期目に入り、是正指導の効果により、違反広告物が減少している。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	良好な都市景観維持のため、引き続き是正指導が済んでいない違反広告物について指導するとともに第2期是正計画に基づく是正指導を行う。また、景観に影響を与える建築物等に対し指導等を行う。						

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	3,149	2,196	2,756	5,642	5,642
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,289	1,297	1,381	1,362	1,362
	一般財源	1,860	899	1,375	4,280	4,280
正職員人工数（時間数）		1,304.00	1,114.00	1,787.00	0.00	0.00
正職員人件費		5,350	4,509	6,914	0	0
トータルコスト		8,499	6,705	9,670	5,642	5,642

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	「野鳥の森散策路と鳥のみち」協働推進プロジェクト		担当課	企画課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成29年度～令和 3年度
	施策	緑を生かした景観の形成	種別	任意の事務
	基本事業	美しい都市景観の形成	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-020107-20 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、自然・緑と共生した環境を維持し、市内外の方が憩う場として拡充・活用を進め、市の魅力の向上、地域活性化に向けた事業を開始した。	市民ボランティア団体（守谷市観光協会）が作り上げてきた地域資源を活用して、将来の地方への永続的な人の流れを創出し、持続的な経済効果をもたらす環境を整える。行政、企業、市民等の協働作業により、鳥のみち（木道）の安全性、快適性を向上させて、つくばエクスプレス等の民間企業と連携した自然体験ツアーを開催する等、守谷の魅力を広域的に発信していく。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
地域資源「守谷野鳥のみち（旧守谷野鳥の森散策路と鳥のみち）」を活用して、将来の地方への永続的な人の流れ（交流人口から移住促進へ）を創出する。持続的な経済効果をもたらす環境を整備することで、魅力ある付加価値を創出し、“住まう”場としての魅力を高める。本市と同様に東京圏との近接性を持つ市区町村と差別化してU・I・Jターンを促進し、総合戦略に掲げる基本方針「『住まう』まち（住み続けることができるまち）・守谷」を実現する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民の景観意識を高め、美しい街並みを創出する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度 of 取組（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
野鳥のみちの利用者数（人）	0.00	0.00	20,000.00	48,300.00	81,800.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下							
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 廃止・終了		<p>地方創生推進交付金は既に令和元年度で終了となっており、引き続き、市民・企業・行政の協働により「守谷野鳥のみち」の周知を行い、より一層市内外から多くの利用者に訪れてもらえるような地域経済の活性化に資する事業を企画課で実施してきた。</p> <p>既に、立ち上げといった段階は過ぎており、市として継続して取り組んでいける体制の整備が必要であるため、経済課の「守谷市観光協会補助事業」に統合する。</p>					

コストの推移						
項目	R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込	
事業費	計	1,095	39	0	0	
	国・県支出金	767	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	768	0	0	0	
	一般財源	-440	39	0	0	
正職員人工数（時間数）	112.00	82.00	105.00	0.00	0.00	
正職員人件費	460	332	406	0	0	
トータルコスト	1,555	371	406	0	0	